

# 年 報

令和3年度版

(公財)岩手県文化振興事業団  
埋蔵文化財センター

## 序

昭和52年、当センターは「財団法人岩手県埋蔵文化財センター」として設立され、それ以来、岩手県教育委員会の御指導や調整、関係機関の御協力のもと、本県における開発事業に伴う発掘調査推進の一翼を担ってまいりました。

令和3年度は、三陸沿岸道路フルインターチェンジ化や企業誘致関連の施設整備事業、農業基盤整備事業などに伴う発掘調査を実施いたしました。また、平成30年度以降、東日本大震災の復興調査で得られた資料は、「復興発掘調査展」と称して沿岸地区を中心に公開してきましたが、昨年度は宮古市民文化会館で開催し、多くの方々に調査成果をご覧いただきました。これら地道な取り組みが、震災復興への一助となることを切に願ってやみません。

本書は、当該年度に実施した当センターの発掘調査並びに整理作業、報告書の刊行、出土文化財の活用、普及啓発活動、研究等の状況を簡潔にまとめたものです。今後の参考資料としてご活用いただければ幸いです。

令和4年7月

(公財)岩手県文化振興事業団  
埋蔵文化財センター  
所長 齊藤邦雄

# 目 次

序

I 埋蔵文化財センターの概要	1
1 設立の主旨	1
2 沿革	1
3 組織	2
4 職員数の推移	3
5 発掘調査事業量(調査面積・遺跡数)の推移	3
6 受託事業費の推移	3
II 事業の概要	4
1 管理業務	4
(1)受託事業	4
(2)研修、諸会議等	4
2 発掘調査業務・整理業務・報告書発刊業務	4
(1)発掘調査業務	4
(2)整理業務	6
(3)報告書発刊業務	6
3 普及業務	10
(1)受託業務	10
①埋蔵文化財展	10
②埋蔵文化財発掘調査技術講習会	10
③埋蔵文化財公開講座	10
④岩手県立埋蔵文化財センター所報「わらびて」の発刊	11
⑤資料保管・管理	12
(2)自主事業	14
①復興発掘調査展	14
②遺跡報告会	14
③児童向けパンフレットの発刊	14
④資格取得	14
⑤研修	15
⑥発刊	15
⑦図書管理	16
⑧所内展示	16
⑨ホームページ運営	16
⑩広報活動	17
⑪遺跡見学・体験学習・教職員研修・現地説明会・現地公開	17
4 外部協力	17
(1)講演・研究発表・会議・指導	18
(2)執筆	18
職員名簿	19
アクセス	20

# I 埋蔵文化財センターの概要

## 1 設立の主旨

豊かな自然に恵まれた岩手県は旧石器時代以来生活の舞台となっており、「埋蔵文化財の宝庫」と呼ばれるほど数多くの文化遺産が受け継がれてきました。それは、時に縄文人の作ったおびたらしい数の土偶であったり、12世紀の東日本最大の都市「平泉遺跡群」であったりします。

一方、高速交通網の整備をはじめ多くの開発事業が促進され、これにより遺跡の発掘調査が急増し、調査体制の充実や出土遺物の整理・収蔵を図る施設の建設が要請されることになりました。

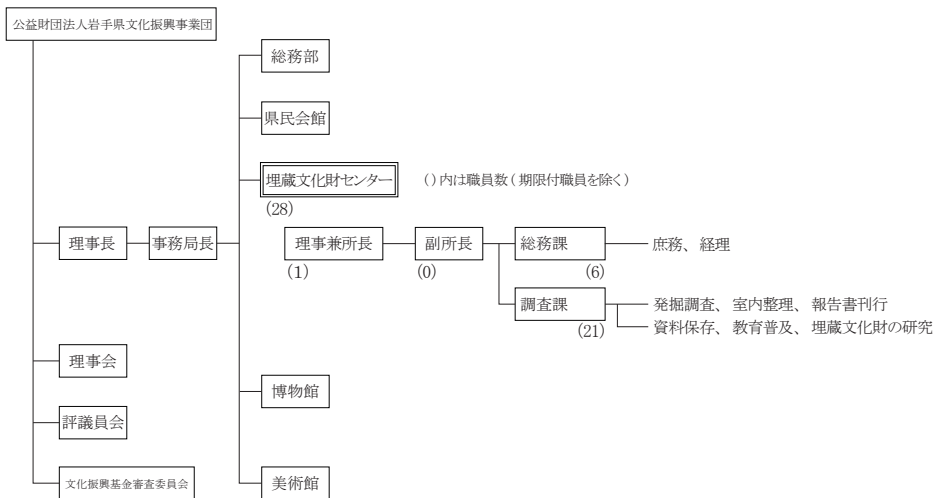
公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターは、このような状況に対処するために設立され、埋蔵文化財の調査、研究、保護思想の普及・啓発などを総合的に行っています。

## 2 沿革

昭和52年4月	財団法人岩手県埋蔵文化財センター設立。組織は総務課、調査課の二課体制 盛岡市向中野39番地の盛岡家畜保健衛生所の旧用地 1,383㎡、旧建物 374㎡ (事務所建 326㎡、車庫 32㎡、雑屋建 16㎡)を借り受け事務所とした
昭和53年10月	所長室、事務室等の管理棟(プレハブ)及び収蔵庫(プレハブ)を建築
昭和54年2月	第1回埋蔵文化財展(市町村巡回)を開催(盛岡市)
昭和55年1月	第1回埋蔵文化財公開講座を開催(盛岡市)
昭和56年4月	岩手県立埋蔵文化財センター庁舎完成(盛岡市下飯岡11地割185番)。同庁舎の 一部を借り受け事務所を移転。資料課を新設し三課体制となる
昭和59年11月	機材収蔵庫(旧北プレハブ棟、2階建 580㎡)をリースにより設置
昭和60年3月	第24回理事会において、財団法人の解散と残余財産を新財団法人に引き継ぐこ とに決定
昭和60年4月	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターとなる 総務課を管理課に改称。管理課、調査課、資料課の体制となる
平成2年4月	隣接の教育センター分館を収蔵庫(960㎡)として借用
平成2年11月	室内整理作業棟(旧南プレハブ2階建 660㎡)をリースにより設置
平成8年3月	県予算により整理作業棟(呼称：新プレハブ 2階建プレハブ、654.76㎡)と収 蔵庫(平屋建プレハブ 327㎡)2棟建設 教育センター分館収蔵庫取り壊しに伴い出土品を移動
平成9年8月	プレハブ棟に冷房機を設置
平成11年4月	岩手県立埋蔵文化財センターの施設管理運営業務を受託 調査課を調査第一課に、資料課を調査第二課に改称
平成12年2月	北山倉庫(旧盲学校校舎)に出土品の一部を移動
平成12年8月	機材収蔵庫(プレハブ2階建、リース物件)を建替え 本館改修(屋根、外壁)工事及び浄化槽改修工事を実施
平成13年6月	本館冷房設備設置工事を実施
平成13年9月	水道配水管漏水補修工事を実施
平成14年9月	旧衛生研究所に出土品の一部を移動

平成15年10月	本館耐震診断調査を実施
平成17年 3月	自家発電設備補修工事を実施
平成18年 4月	管理課を総務課に改称
平成22年 4月	旧南プレハブ老朽化のため解体
平成23年 4月	公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターとなる
平成24年 4月	調査第一課及び調査第二課を調査課に統合
平成25年 4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員 3名と岩手県から 3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員 7名とOB職員 3名の任用
平成25年11月	盛岡市向中野 3丁目18-35に事務所を借り室内整理室の分室とする (～平成26年 3月)
平成26年 2月	室内整理作業棟(呼称：南プレハブ 平屋建 334.65㎡、リース物件)の増設
平成26年 4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員 6名と岩手県から 3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員 8名とOB職員 6名の任用
平成26年11月	盛岡市西仙北1丁目16-10に事務所を借り室内整理室の分室とする(～令和 2年 3月)
平成27年 4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員 5名と岩手県から 3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員 5名とOB職員 5名の任用
平成28年 4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員 3名と岩手県から 2名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員 1名とOB職員 4名の任用
平成29年 2月	矢巾町大字広宮沢第10地割506番地 2に事務所等を借り室内整理室の分室とする(～平成31年 3月)
平成29年 4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員 4名と岩手県から 1名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員 3名とOB職員 3名の任用
平成30年 4月	東日本大震災復興調査及び支援のため、期限付調査員 3名とOB職員 4名の任用及び福島県文化振興財団に職員 1名の派遣
平成31年 4月	東日本大震災復興調査支援のため、福島県文化振興財団に職員 1名の派遣
令和 2年 4月	東日本大震災復興調査支援のため、福島県文化振興財団に職員 1名の派遣

### 3 組 織



法人職員22名、常勤契約職員6名の28名

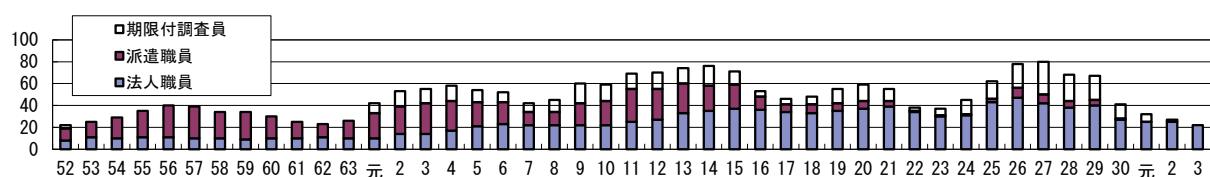
#### 4 職員数の推移(昭和52年度～令和3年度)

(人)

年度	(財)岩手県埋蔵文化財センター									(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター												
	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
法人職員	8	11	10	11	11	10	10	9	10	10	11	10	10	14	14	17	21	23	22	22	22	22
派遣職員	11	14	19	24	29	29	24	25	20	15	12	16	23	25	28	27	22	20	12	12	20	22
期限付調査員	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	14	13	14	11	9	8	11	18	15
計	22	25	29	35	40	39	34	34	30	25	23	26	42	53	55	58	54	52	42	45	60	59

年度	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター											(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター											
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
法人職員	25	27	33	35	37	36	34	33	35	37	39	34	30	31	43	47	42	38	40	27	25	25	22
派遣職員	30	28	27	23	22	12	7	8	7	7	5	1	1	1	3	9	8	6	5	1	0	0	0
期限付調査員	14	15	14	18	12	5	5	7	13	15	11	3	6	13	16	22	30	24	22	13	7	2	0
計	69	70	74	76	71	53	46	48	55	59	55	38	37	45	62	78	80	68	67	41	32	27	22



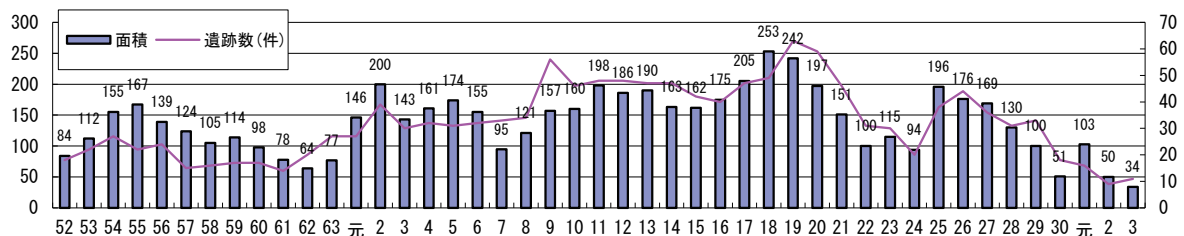
#### 5 発掘調査事業量(調査面積・遺跡数)(昭和52年度～令和2年度)

(千㎡・件)

年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
面積	84	112	155	167	139	124	105	114	98	78	64	77	146	200	143	161	174	155	95	121	157	160
遺跡数(件)	18	22	27	22	24	15	16	17	17	14	20	27	27	39	30	32	31	32	33	34	56	46

年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
面積	198	186	190	163	162	175	205	253	242	197	151	100	115	94	196	176	169	130	100	51	103	50	34
遺跡数(件)	48	48	47	47	42	40	47	49	63	59	46	31	30	20	38	44	36	31	33	18	16	9	11



#### 6 受託事業費の推移(昭和52年度～令和3年度) ※事業費百万円未満四捨五入

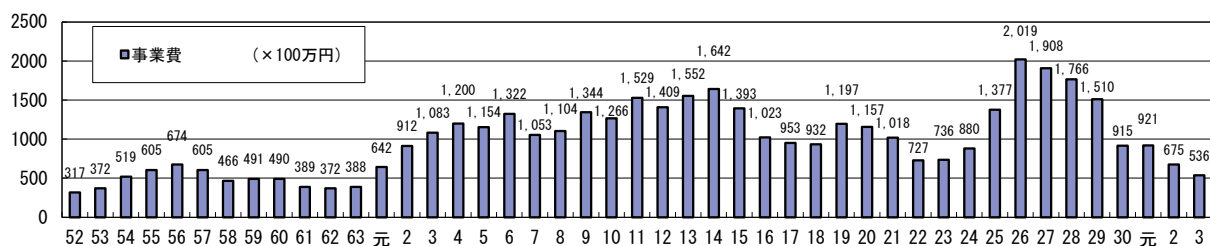
(百万円)

年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
事業費(×100万円)	317	372	519	605	674	605	466	491	490	389	372	388	642	912	1,083	1,200	1,154	1,322	1,053	1,104	1,344	1,266	1,529

年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
事業費(×100万円)	1,409	1,552	1,642	1,393	1,023	953	932	1,197	1,157	1,018	727	736	880	1,377	2,019	1,908	1,766	1,510	915	921	675	536

平成11年度以降、管理受託収入、緊急雇用特別対策事業収入(平成16年度まで及び21～23年度)を含む



## Ⅱ 事業の概要

### 1 管理業務

#### (1) 受託事業(施設の管理運営)

##### ① 岩手県立埋蔵文化財センターの管理運営業務受託

本館、室内整理作業棟、収蔵庫2棟、器材収蔵庫棟等の施設・設備の管理保全

##### ② 出土遺物の保管管理

特別収蔵庫(本館2階)、一般収蔵庫(本館3階)、収蔵庫A・B棟のほか、旧東和高校体育館に遺物を保管

#### (2) 研修、諸会議等(専門職員研修等を除く)

##### ① 職員研修〈事業団研修〉

実施なし

##### ② 安全衛生関係

安全衛生委員会 月1回(労働安全衛生法第18条第1項に基づく設置)

救急救命講習(AEDの使い方、その他応急措置)

※新型コロナウイルス感染拡大防止で講師確保が困難のため中止

安全及び衛生管理体制の充実

第二種衛生管理者準備講習(受講予定2名)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加を自粛

有機溶剤作業主任者講習(受講予定1名)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加を自粛

化学物質リスクアセスメントセミナー(受講予定2名)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加を自粛

##### ③ 諸会議

事業団理事会 5月20日、6月11日、7月28日、11月19日、3月17日

事業団評議員会 6月11日

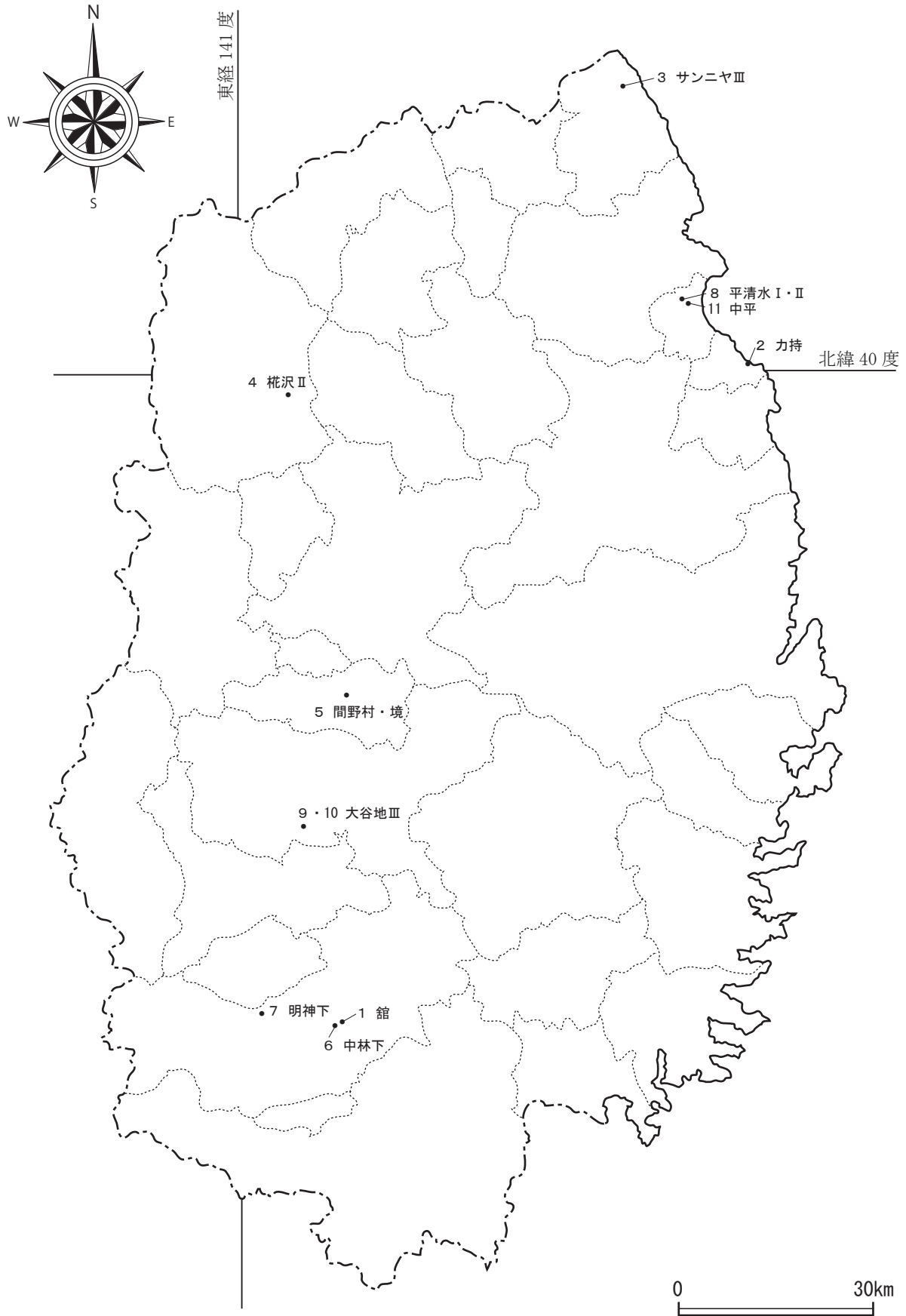
岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課・事業団 埋蔵文化財業務連絡会 5月24日

### 2 発掘調査業務・整理業務・報告書発刊業務

#### (1) 発掘調査業務

令和3年度の発掘調査は、当初計画で11遺跡・面積34,943㎡で開始した。新規追加2遺跡(大谷地Ⅲ遺跡の別事業分、サンニヤⅢ遺跡)があり、最終的には11件、12遺跡・面積34,396㎡の調査を行った。前年度実績の8遺跡・面積58,075㎡と比較し、遺跡数では4件、調査面積は4割減となっている。本年度は北上盆地のほか、沿岸北部に多く、3市2町2村で実施した。内訳は、道路建設5遺跡、農業基盤整備4遺跡、産業廃棄物処理施設整備1遺跡、市町村からの委託2遺跡となっている。

縄文時代では、野田村中平遺跡、平清水Ⅱ遺跡で前期、普代村力持遺跡で中期、八幡平市椀沢Ⅱ遺跡で後期の集落跡を調査した。中平遺跡は竪穴住居26棟、陥し穴状遺構等10基を検出したが、土器などの遺物が極端に少ないことが注目される。力持遺跡では調査面積は少ないが、住居、貯蔵穴など夥しい遺構の重複が見られた。また、中平遺跡、平清水Ⅱ遺跡、洋野町サンニヤⅢ遺跡、花巻市大谷地



令和3年度発掘調査遺跡位置図



Ⅲ遺跡では溝状や土坑状の陥し穴状遺構が見つかった。

大谷地Ⅲ遺跡は、奈良時代の集落跡でもある。環状の溝によって区画された内側に、大型の竪穴住居、住居状遺構が配されている。また、焼成土坑が17基検出され、盛んに土器生産が行われたと考えられる。竪穴住居、焼成土坑からは和賀を中心とした蝦夷の儀器とされる赤彩球胴甕等が出土した。

今年度は平安時代の遺跡を多く調査している。奥州市胆沢若柳の明神下遺跡は、胆沢扇状地北端の胆沢川沿いに位置し、9世紀後半から10世紀前半の大規模集落である。28棟の竪穴住居を検出し、昨年度調査と併せると90棟に上る。竪穴住居の中には工房とみられるものもあり、床面から炉の跡を検出したほか、鉄滓が出土している。刀子や鉄鏃、紡錘車など鉄製品も多く、2か年合わせて170点を超える出土量である。小型の掘立柱建物跡も10棟以上を検出した。本遺跡からは緑釉陶器のほか昨年度石帯8点がまとまって出土しており、胆沢城の関与する重要な集落であったと思われる。

奥州市水沢真城の中林下遺跡では、今年度18棟の掘立柱建物跡が確認された。昨年度調査分を含めると30棟である。建物の規模は2間×2間、2間×3間の小規模なものが多いが、3間×5間の大型の建物も検出している。柱穴は一辺0.6～1.5mの方形を呈しており、柱材や礎板が残存しているものがある。建物を建てるため地形の低い部分を埋めるように整地し、平坦地を造成していることが判明した。本遺跡は何らかの官衙に関連する遺跡と推定される。

紫波町境遺跡は、9世紀代の集落で、北上川左岸の自然堤防上に位置する。竪穴住居2棟、焼成土坑2基のほか溝を検出している。

野田村中平遺跡は「野田竪穴住居跡群」として知られる県史跡の北東側に位置しており、昭和40年に岩手大学の草間俊一教授により住居と思われる窪みが180か所以上確認されている。今年度その一部を調査し、古代の竪穴住居24棟(うち確認調査区13棟)、土坑5基を検出した。完掘した11棟は平安時代の住居である。本遺跡は来年度も継続して調査する予定である。

中世では、奥州市中林下遺跡で戦国時代の居館跡が2か所検出された。昨年度調査で二重の堀に囲まれた一辺50mほどの空間が検出されていたが、今年度は堀の内側の精査を行い、二重の堀の間の土塁、門、通路の側溝、掘立柱建物跡のおびただしい柱穴などを確認した。今年度はさらに50m南西で、ほぼ同程度の規模の居館跡を確認した。堀は二重ではないものの、堀の中の水をせき止める施設や屋敷地内に池を配することなど共通点が多い。

今年度は、創設以来最も少ない調査面積で、遺構数、遺物数も少なかったが、奈良、平安時代の遺跡において地方支配に関する成果が得られた。

## (2) 整理業務

今年度は、紫波町北条館跡の室内整理業務を実施した。また、陸前高田市より被災ミュージアムの復興事業として、東日本大震災で被災した門前貝塚等の考古資料の修復、接合、復元、台帳作成を行った。

## (3) 報告書発刊業務

今年度は、4遺跡2冊の報告書を刊行した。二子城跡は、北上市都市整備部から受託したものである。

今年度調査した3件(館遺跡、柁沢Ⅱ遺跡、大谷地Ⅲ遺跡(都市計画道路分))については本報告として、力持遺跡ほか8件(サンニヤⅢ遺跡、間野村遺跡・境遺跡、中林下遺跡、明神下遺跡、平清水Ⅰ遺跡・平清水Ⅱ遺跡、中平遺跡、大谷地Ⅲ遺跡(インターチェンジ整備事業分))については概要として「令和3年度発掘調査報告書」に掲載した。

表1 令和3年度発掘調査一覧

No.	遺跡名	所在地	面積 (㎡)	調査期間	関連事業名	調査成果
1	館遺跡	奥州市	1,000	8/2～9/27	一般国道3号水沢東バイパス整備事業	(検出遺構) 平安: 竪穴住居1、土坑2、不明: 土坑5、柱穴状62、井戸1、溝2 (出土遺物) 須恵器・土師器中1箱、近世陶磁器、縄文土器、古銭、煙管
2	力持遺跡	普代村	178	4/6～8/3	三陸沿岸道路建設事業	(検出遺構) 縄文: 竪穴住居21、土坑10、配石3、炉8、柱穴状128 (出土遺物) 縄文土器大40箱、石器・石製品大1箱、琥珀細片
3	サンニヤⅢ遺跡	洋野町	1,882	10/5～12/15	三陸沿岸道路建設事業	(検出遺構) 縄文: 陥し穴5 (出土遺物) なし
4	椗沢Ⅱ遺跡	八幡平市	900	10/1～10/29	公共関与型産業廃棄物最終処分場整備事業	(検出遺構) 縄文: 竪穴住居1、焼土4 (出土遺物) 縄文土器中1箱、土製品
5	間野村遺跡、境遺跡	紫波町	620	10/1～11/5	主要地方道 紫波江繋線 星山地区道路改良工事	(検出遺構) 平安: 竪穴住居2、土坑2、溝1、小土坑1、中世: 堀1、不明: 掘立柱建物1、土坑1 (出土遺物) 土師器・須恵器大3箱、土錘、近世陶磁器
6	中林下遺跡	奥州市	8,220	4/7～9/30	経営体育成基盤整備事業(真城南地区)	(検出遺構) 縄文: 土器埋設遺構1、平安: 掘立柱建物19、土坑2、池状6、遺物集中2、整地層1,000㎡、不明2、中世: 掘立柱建物12、堀2、溝12、土坑12、柱穴状1,150、池状2 (出土遺物) 縄文～弥生土器1袋、石器1袋、平安: 土師器・須恵器大12箱、木製品小1箱、建築部材大40箱、馬歯、中世: 陶磁器、鉄鏃、銭貨、建築部材大10箱、木製品大3箱、近世: 煙管
7	明神下遺跡	奥州市	7,930	4/7～7/30	経営体育成基盤整備事業(若柳中部地区)	(検出遺構) 平安: 竪穴住居・工房24、掘立柱建物15、陥し穴・土坑29、柱穴状579 中世以降: 溝跡14 (出土遺物) 縄文土器1袋、土師器・須恵器大17箱、緑釉陶器、鉄製品中1箱、鉄滓、羽口、砥石小1箱、黒曜石製スクレイパー、剥片、中世～近世陶磁器
8	平清水Ⅰ遺跡、平清水Ⅱ遺跡	野田村	2,949	4/6～6/30	農業競争力強化基盤整備事業(泉沢・中平地区)	(検出遺構) 縄文: 竪穴住居2、土坑28、陥し穴4、平安: 竪穴住居2ほか (出土遺物) 土器大4箱、石器中3箱、コハク・炭化物
9	大谷地Ⅲ遺跡	花巻市	5,982	4/8～10/15	(仮称)花巻PA インターチェンジ整備建設事業	(検出遺構) 縄文: 陥し穴59、埋設土器1、奈良: 竪穴住居3、住居状1、溝6、焼成遺構18、周溝1、古代以降: 掘立柱建物3、土坑23、時期不明: 焼土1、柱穴状50 (出土遺物) 土師器大4箱、土玉、黒曜石、縄文土器、石器、寛永通宝
10			105	9/16～9/30	都市計画道路 山の神諏訪線道路整備事業	(検出遺構) 奈良～平安: 溝1 (出土遺物) 奈良～平安: 土師器・須恵器1袋
11	中平遺跡	野田村	4,630	7/1～11/12	野田小学校建設事業	(検出遺構) 縄文: 竪穴住居26、土坑8、陥し穴5、平安: 竪穴住居11、土坑5、時期不明: 土坑22、柱穴3 (出土遺物) 縄文土器1袋、土師器大1箱、剥片石器小1箱、礫石器中1箱、鉄製品、鉄滓1袋、琥珀1袋
合計		12遺跡	34,396			

表2 令和3年度整理業務一覧

No.	遺跡名	所在地	整理期間	関連事業名	備考
1	北条館跡	紫波町	4/1～3/31	北上川緊急治水対策事業	平成30年度～令和2年度調査
2	門前貝塚 他	陸前高田市	6/1～3/25	被災ミュージアム再興事業	

表3 令和3年度発掘調査報告書発刊一覧

集数	遺跡名	所在地	委託者	担当者名	総頁数	印刷業者	調査年度
734	二子城跡	北上市	北上市都市整備部	杉沢昭太郎	172	(株)阿部印刷	令和元年・2年度
735	「令和3年度発掘調査報告書」 本報告: 館遺跡、椗沢Ⅱ遺跡、大谷地Ⅲ遺跡 調査概要: 力持遺跡、サンニヤⅢ遺跡、間野村・境遺跡、中林下遺跡、明神下遺跡、平清水Ⅰ遺跡・平清水Ⅱ遺跡、中平遺跡、大谷地Ⅲ遺跡				78	大更印刷(株)	令和3年度



中平遺跡 縄文時代前期竪穴住居群



中林下遺跡 平安時代の掘立柱建物群



平清水Ⅱ遺跡 縄文時代前期の貯蔵穴



力持遺跡 前期～中期集落



栴沢Ⅱ遺跡 後期竪穴住居



大谷地Ⅲ遺跡 直上から



境遺跡



大谷地Ⅲ遺跡 土器焼成遺構



中林下遺跡 居館跡1



中林下遺跡 居館跡2

### 3 普及業務

#### (1) 受託業務

岩手県教育委員会より委託を受け、次の事業を行っている。

##### ① 埋蔵文化財展

令和3年度の第42回埋蔵文化財展は、令和4年1月28日(金)から30日(日)の3日間、いわて県民情報交流センター(アイーナ)を会場に開催した。開催にあたっては、来場者に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用と検温、連絡先の記入をお願いするなどの対策をとった。

本事業は、県内の遺跡発掘調査の成果を県民に公開し、埋蔵文化財への理解と保護思想の普及を図るために継続している展示会である。近年は、東日本大震災の復興関連発掘調査の成果公開と、その年に埋蔵文化財センターが調査を実施した遺跡の速報として展示を行っており、今回の復興関連調査の成果は、宮古市で発掘調査された24遺跡の遺構写真パネルと出土した遺物、速報展としては令和3年度に埋蔵文化財センターが調査を実施した3遺跡の出土遺物、公開講座のテーマに即した県内の赤彩土器を展示した。3日間の入場者は173名であった。



埋蔵文化財展

##### ② 埋蔵文化財発掘調査技術講習会

毎年、県内の県及び市町村の埋蔵文化財担当職員と当埋蔵文化財センター職員を対象として、発掘調査に必要なとされる技術・知識の講習を行っている。今年度は令和3年12月4日(金)に盛岡市の岩手県立博物館を会場に実施した。例年、午前は講義、午後はワークショップを行ってきたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からワークショップは行わず、午後の講義のみとし、今回は岩手県立博物館金子昭彦学芸第一課長に「編年の技術と県内土器の編年」と題して講義をいただいた。参加者は38名であった。



技術講習会

##### ③ 埋蔵文化財公開講座

令和4年1月29日(土)、いわて県民情報交流センター(アイーナ)を会場に開催した。受講者は97名であった。例年、午前に公開講座、午後は自主事業の遺跡報告会と同日開催しているが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から時間を短縮して公開講座と報告会を午後に行った。講師には北上市立博物館の杉本良館長をお迎えし、「38年戦争とエミシの赤い土器」と題してご講演いただいた。



公開講座

「特定のエミシの人たちの動きが赤い甕との関わりとして示されるお話は大変興味深くワクワクして聴くことができました。」「県内外の城柵跡の歴史を知得し、河川の重要性を感じました。」などの感想が寄せられた。



#### ④ 岩手県立埋蔵文化財センター所報「わらびて」の発刊

公開講座

6月と2月の年2回、岩手県立埋蔵文化財センター所報「わらびて」を発刊している。令和2年度は144号と145号を発行した。



144号(令和3年6月30日発行)

#### 144号の内容

- ・令和2年度に市町村等が行った県内発掘調査
- ・令和3年度に(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが行う調査
- ・北条館跡一日詰(比爪)の地に築かれた平城一
- ・イベントのお知らせ
- ・人事動向



145号(令和4年2月28日発行)

#### 145号の内容

- ・令和3年度の(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター発掘調査の成果
- ・注目された遺跡
- ・東日本大震災関連復興調査から見えた三陸の歴史 Part 1 (沿岸南部)
- ・実施イベントの報告

⑤ 資料保管・管理

発掘調査で出土した遺物(埋蔵文化財)を整理・管理している。資料は岩手県教育委員会の通知を受け、貸出業務及び市町村への譲与対応を行っている。また、資料の実見対応や画像貸出等も行っている。

表4 市町村譲与

No.	市町村	集数	遺跡名	コンテナ数	譲与日
1	洋野町	第725集	北ノ沢Ⅰ遺跡	357	令和3年6月1日
2	洋野町	第728集	北玉川遺跡	34	令和3年6月1日
3	洋野町	第729集	板橋Ⅱ遺跡	25	令和3年6月1日
			計	416	

表5 資料の実見

No.	受入日	申請者	内容	備考
1	4月6日	三内丸山遺跡発掘調査委員会	論文作成	
2	6月18日	秀明大学	学術研究	
3	9月1日	東京大学	学術研究	
4	11月4日～11月5日	大正大学	学術研究	写真撮影含む
5	12月7日	福島大学	論文作成	
6	12月9日	(公財)千葉県教育振興財団	学術研究	
7	12月14日	福島県立博物館	学術研究	
8	2月18日	岩手県立博物館	展示借り受け事前調査	

表6 資料の貸出

No.	資料名	貸出期間	貸出先	目的
1	上代川遺跡出土遺物 39点	4月15日～9月30日	県立博物館	40周年記念特別展
2	島田Ⅱ遺跡ほか出土遺物 4点	5月10日～9月30日	県立博物館	40周年記念特別展
3	川目Ⅰ遺跡ほか出土遺物 37点	5月24日～10月1日	盛岡市遺跡の学び館	テーマ展
4	向新田Ⅲ遺跡ほか出土遺物 60点	7月15日～10月8日	宮古市	夏季企画展
5	台太郎遺跡ほか出土遺物 58点	6月14日～7月2日	見前南小学校	社会科授業
6	塩ヶ森Ⅰ遺跡ほか 192点	10月1日～2月28日	県立博物館	テーマ展
7	柏山館跡ほか 91点	9月10日～12月10日	奥州市埋蔵文化財調査センター	企画展
8	堰向Ⅱ遺跡ほか 60点	10月18日～1月21日	仙台市富沢遺跡保存館	企画展
9	峠山牧場Ⅰ遺跡ほか 94点	10月7日～12月17日	八戸市是川縄文館	企画展
10	大型土偶東部レプリカ	10月7日～11月30日	八戸市是川縄文館	企画展
11	間木戸Ⅱ遺跡ほか 33点	12月6日～1月7日	山田町教育委員会	企画展
12	大橋遺跡ほか 27点	12月21日～3月31日	宮古市	企画展
13	松山館跡ほか 27点	12月1日～2月25日	宮古市	企画展

表7 写真の貸出

No.	月	申請者	目的	遺跡名	資料内容	点数
1	4	株式会社ムーブ	昭文社発行「岩手のトリセツ」掲載	塩ヶ森Ⅰ遺跡ほか4遺跡	遺物写真	5
2	4	盛岡市遺跡の学び館	テーマ展パネル掲載	細谷地遺跡ほか2遺跡	遺物写真	3
3	4	県立博物館	40周年記念展で展示	江川鉄山跡ほか10遺跡	遺構写真	15
4	4	NHK盛岡放送局	番組「おぼんですいわて」で使用	萩内遺跡	遺物写真	1
5	5	洋野町種市歴史民俗資料館	岩手考古学会での発表に使用	赤浜Ⅱ遺跡	遺構図面	1
6	5	(株)亜璃蘭社	「北海道縄文の暮らしと文化」に掲載	宿戸遺跡	作業風景写真	1
7	5	木簡学会	「木簡研究」の電子化、公開	道上遺跡	遺物図面	1

No.	月	申請者	目的	遺跡名	資料内容	点数
8	6	(株)亜璃蘭社	「北海道縄文の暮らしと文化」に掲載	長倉Ⅰ遺跡	遺物写真	1
9	6	せんまや街角資料館指定管理者	企画展「郷土の土偶」展でパネル展示	相ノ沢遺跡	遺物写真	1
10	6	(株)めんこいエンタープライズ	テレビ番組「山海漬」で使用	中村遺跡ほか1遺跡	作業風景、遺構写真、遺物写真	7
11	6	(株)岩手日報	別刷り特集に掲載	接待館遺跡ほか2遺跡	遺構写真・遺物写真	5
12	6	宮古市教育委員会	夏季企画展展示で展示	向新田Ⅲほか2遺跡	遺跡、遺構、遺物写真	29
13	7	軽米町教育委員会	歴史民俗資料館企画展「長倉の縄文芸術」	長倉Ⅰ遺跡ほか	遺跡全景写真ほか	14
14	7	大阪府立弥生文化博物館	博物館講座の発表資料掲載	田の浜館跡ほか4遺跡	遺構写真遺物写真	46
15	7	八戸市博物館	アプリ「戦国南部氏城めぐり」掲載	千徳城遺跡群ほか3遺跡	遺跡写真	4
16	7	岩手日報株式会社	北海道・北東北の縄文遺産世界遺産決定記念別刷り掲載	萩内遺跡ほか9遺跡	遺物写真	11
17	8	八幡平市博物館	企画展展示及び図録掲載	崩石遺跡ほか4遺跡	遺構写真	16
18	8	(株)ロムインターナショナル	「地図でスッと頭に入る縄文時代」に掲載するため。	山王山遺跡	遺物写真	1
19	8	岩手県立博物館	テーマ展の展示	仁佐瀬Ⅱ遺跡ほか11遺跡	遺構写真	35
20	9	奥州市埋蔵文化財調査センター	企画展の展示、図録掲載	下嵐江Ⅰ・Ⅱ遺跡8遺跡	遺構写真	32
21	9	(株)文芸社	「仮面に見るホモ・サピエンス前史」に掲載	萩内遺跡	遺物	1
22	9	海田芙柚侅	「遺跡に学ぶ考古学クッキング」に掲載	長倉Ⅰ遺跡	遺物	2
23	10	永瀬史人	論文に掲載	上村貝塚	遺構写真	8
24	10	是川縄文館	企画展の図録掲載と広報	内田貝塚ほか2遺跡	遺物写真	69
25	10	(株)ジャパン通信情報センター	「文化財発掘出土情報」に掲載	中林下遺跡	遺構写真・遺跡見学会資料	5・1
26	10	宮古市教育委員会	企画展に展示	松山館跡ほか10遺跡	遺構写真	21
27	11	村田 淳	静岡大学日本史考古学読書会で発表	隠里Ⅲ遺跡ほか4遺跡	遺構写真	5
28	12	山田町教育委員会	企画展に展示	間木戸Ⅱ遺跡ほか6遺跡	遺構写真	16
29	12	埼玉県歴史と民俗の博物館	歴史民俗講座で使用	大鳥Ⅰ遺跡ほか3遺跡	遺物写真	4
30	12	岩手県立博物館	北上川水源セミナーの広報チラシに掲載	中半入遺跡	遺物写真	1
31	12	(株)雄山閣	「季刊考古学」に掲載	上代川遺跡	遺跡写真	1
32	12	相模原市立史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館	ミニ展示で資料	峠山牧場ⅠA	遺物	1
33	1	(株)ジャパン通信情報センター	「文化財発掘出土情報」に掲載	大谷地Ⅲ遺跡	遺構写真・現説資料	5
34	1	洋野町教育委員会	岩手考古学会記念誌に掲載	宿戸遺跡ほか1遺跡	遺物写真	2
35	2	岩手県立博物館	企画展展示図録掲載	夏本遺跡ほか13遺跡	遺構写真・遺物写真	39
36	2	三内丸山遺跡センター	特別展図録掲載	馬立Ⅱ遺跡	遺物写真	1
37	3	特別非営利活動法人一関文化会議所	一関ふるさと学習院講座収録週に掲載	志羅山遺跡	遺構写真	1
38	3	洋野町立種市歴史民俗資料館	報告書作成ための参考資料として	鹿糠浜Ⅰ遺跡	遺物写真	36
39	3	洋野町立種市歴史民俗資料館	岩手遺跡地区WEBサイトに掲載	宿戸遺跡	遺構写真・遺物写真	4
40	3	三陸ジオパーク推進協議会	三陸ジオパークだより80号に掲載	伏津館跡	遺構写真	1
41	3	北上市市史編纂室	新編北上市史に掲載	中嶋遺跡	遺物写真	1
42	3	(株)TBS スパークル	テレビ番組「関口宏の一番新しい古代史」で使用	和光6区遺跡ほか3遺跡	遺物写真	4
43	3	神奈川県立歴史博物館	特別展「永福寺と鎌倉御家人」で使用	柳之御所跡	遺構写真	1
					すべてデジタル 計	459



(2) 自主事業

① 復興発掘調査展 in 宮古市

東日本大震災からの復興事業に伴う発掘調査の成果を地元で公開する目的で、令和3年9月23(木・祝)から26日(日)の4日間、宮古市民文化会館展示室を会場として「復興発掘調査展 in 宮古市」を開催した。平成24年度以降、当センターが宮古市内で実施した復興関連調査30遺跡の出土品と写真パネルの展示を中心とし、あわせて岩手県教育委員会、宮古市教育委員会が行った復興関連調査の成果も紹介した。来場者数は4日間で延べ446名である。



復興発掘調査展 in 宮古市①



復興発掘調査展 in 宮古市②

② 遺跡報告会

遺跡報告会は県からの受託業務の埋蔵文化財公開講座と同日の令和4年1月29日(土)に、いわて県民情報交流センター(アイーナ)を会場に開催し、96名の参加があった。今年度は当センターが調査した古代と縄文の3遺跡について紹介した。



遺跡報告会

表8 遺跡報告会報告遺跡

No.	報告遺跡	所在地	時代と内容	報告者
1	大谷地Ⅲ遺跡	花巻市	豊沢川南岸の奈良時代の集落跡。溝に囲まれた竪穴住居と竪穴状遺構、蝦夷の儀器とみられる赤彩球胴甕、赤彩の坏などが出土。	主任文化財専門員 八木 勝枝
2	中林下遺跡	奥州市	地方官衙と思われる平安時代の掘立柱建物群と堀に囲まれた戦国時代末の居館跡2か所を検出。	文化財専門員 北田 勲
3	中平遺跡	野田村	縄文時代前期の集落、狩場、中期～後期の狩場を検出。平安時代の集落跡では竪穴住居に十和田a火山灰を確認。	主任文化財専門員 村木 敬

③ 児童向けパンフレットの制作、配布

葦内遺跡出土の大型土偶をキャラクターにした児童向けのパンフレットで、小学校5・6年生を対象としている。今年度は13,000部を作成し、小学校182校に配布した。令和2年度からの継続事業で県内全小学校に配布を完了した。

④ 資格取得

- 第二種衛生管理者2名 主任文化財専門員 阿部 勝則  
主任文化財専門員 杉沢 昭太郎



パンフレット

⑤ 研 修

●職員専門研修

令和4年2月4日(金)所内研修

「福島県での遺跡調査について」((公財)福島県文化振興財団への出向職員による伝達講習)

講師 主幹兼課長補佐 高木 晃(令和2年度出向)  
主任文化財専門員 杉沢 昭太郎(平成30年度出向)  
文化財専門員 須原 拓(令和元年度出向)

●期限付職員研修

令和3年12月14日(火)「土器や石器の置き方、実測方法の説明」など

講師 文化財専門員 村田 淳

●外部研修への派遣

◆文化庁

令和3年8月25日(水)～26日(木)「埋蔵文化財担当職員等講習会」

受講 文化財専門員 須原 拓(新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインにより受講)

◆全国埋蔵文化財法人連絡協議会

令和3年度全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会

研修開催法人 公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、非対面方式で開催(資料集発刊)。

◆岩手県、一般社団法人岩手県文化財愛護協会

令和3年4月21日「岩手県文化財保護行政基礎研修会」講師 生涯学習文化財課職員

受講 参事兼調査課長 金子 佐知子

主幹兼課長補佐 星 雅之

主幹兼課長補佐 高木 晃

◆独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所

該当なし(新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加を自粛)

◆産業技術短期大学校

該当なし(新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加を自粛)

⑥ 発 刊

●紀要 第41号

当センターの研究紀要として、昭和55年以来発刊している。今年度は論文3編、研究ノート1編を掲載した。

表9 紀要第41号の内容

(論文)

執筆者	タイトル
金子 昭彦	東北地方・縄文晩期の土偶(7)
福島 正和	東北地方北部における平安時代の雑穀利用に関する考古学的研究
阿部 勝則	岩手県における近・現代の白炭窯の系譜

(研究ノート)

野中 裕貴	東北部における縄文時代草創期の爪形文系土器について ―板橋Ⅱ遺跡・鹿糠浜Ⅰ遺跡の出土事例の検討―
-------	---

●年報 令和2年度版

令和2年度に当センターが実施した発掘調査・整理・報告書刊行・遺物の活用・普及啓発・研究普及等の業務成果記録を掲載し、平成30年度以降は印刷物とせず、webで公開している。

⑦ 図書管理

●図書台帳の作成

令和3年度新着図書1,921冊のデータベース化と図書台帳作成を行った。センター設立から令和4年3月末日までの図書受け入れ冊数は70,137冊である。

●図書の整理保管

新着図書の記号ラベル貼付けと図書カード作成後に整理・収納し、図書室ほかに配架した。

●図書の貸出

令和3年度は713件の貸出があった。

表10 図書受け入れ冊数

年 度	財団寄贈	県立寄贈	購 入	合 計
平成14年度まで	24,172	5,049	4,010	33,231
平成15年度	1,936	331	247	2,514
平成16年度	1,692	190	51	1,933
平成17年度	2,110	212	71	2,393
平成18年度	1,805	168	155	2,128
平成19年度	1,834	187	69	2,090
平成20年度	2,218	100	39	2,357
平成21年度	1,813	104	56	1,973
平成22年度	1,833	53	24	1,910
平成23年度	1,483	62	79	1,624
平成24年度	1,954	166	50	2,170
平成25年度	1,734	111	43	1,888
平成26年度	1,789	75	148	2,012
平成27年度	1,567	46	30	1,643
平成28年度	1,527	45	24	1,596
平成29年度	1,722	30	35	1,787
平成30年度	1,642	16	97	1,755
令和元年度	1,468	13	57	1,538
令和2年度	1,593	42	39	1,674
令和3年度	1,860	23	38	1,921
合 計	57,752	7,023	5,362	70,137

⑧ 所内展示

本館玄関ホールにおいて、当センター保管の各時代の遺物資料を展示している。

⑨ ホームページ運営

主な項目と内容

- ・「発掘調査」発掘調査の方法や現在発掘中の遺跡・室内整理の状況を進捗に合わせて逐次紹介。
- ・「現地説明会・現地公開のご案内」現地説明会のお知らせと開催した説明会のレポートを掲載。
- ・「出土品ギャラリー」これまでに調査した遺跡から出土した遺物の代表的なものを紹介。
- ・「いわての歴史年表」主な遺跡を掲載した年表を掲載。
- ・「イベントレポート」公開講座や遺跡報告会など行事の様子を紹介。令和3年度は動画も公開している。
- ・「ムービー」センター創設以来の業務の紹介映像。
- ・東日本大震災関連の発掘調査に関してはコーナーを設けて検索しやすいように配置している。
- ・令和3年4月から4年3月までのアクセス数は27,762件で、月平均2,314件である。

## ⑩ 広報活動

●FM岩手のラジオ番組「夕刊ラジオ」内の事業団提供『You Gotta Culture!』で年3回、イベントや調査情報等について周知した。

表11 ラジオ放送による広報活動

No.	放送日	内容	担当者
1	9月17日	「復興発掘調査展 in 宮古市」のお知らせ	主幹兼課長補佐 高木 晃
2	12月3日	今年度の発掘調査成果	参事兼調査課長 金子 佐知子
3	1月21日	「遺跡報告会・公開講座」のお知らせ	主任文化財専門員 村上 拓

## ⑪ 遺跡見学・体験学習・教職員研修・現地説明会・現地公開

3年度は、遺跡見学1件、体験学習1件、教職員研修1件の計3件と例年より少ない。現地説明会と現地公開は、新型コロナ感染状況の許す限り、手指消毒、マスク着用、来場者カードの記入、密を避けるなどの感染防止対策を執って2回実施した。

表12 現地説明会・現地公開

No.	遺跡名	所在地	期日	種別	参加人数	遺跡内容
1	明神下	奥州市	7月6日(火)	現地公開	25	平安集落
2	中平	野田村	11月3日(水・祝)	現地説明会	91	縄文・平安 集落
					計2回	116名

表13 遺跡見学等

No.	受入日	遺跡名	機関名(申請者)	人数	内容
1	7月27日	中林下遺跡	真城地区振興会	28	遺跡見学

表14 体験学習

No.	受入日	場所	機関名(申請者)	人数	内容
1	11月30日	埋蔵文化財センター	盛岡視覚支援学校	1	中堅教諭等社会体験研修
2	12月23日～24日 1月5日～7日	埋蔵文化財センター	盛岡スコール高校	1	インターンシップ



明神下遺跡 現地説明会

## 4 外部協力

外部組織等からの依頼を受け、講演の講師、研究会等の報告、委員会等の会議への出席や指導委員などや出版物への執筆依頼を受けるなど外部協力を行っている。

表15 講演・研究発表・報告・会議・指導等

No.	主催者	派遣場所	月日	内容	職	氏名	備考
1	釜石市文化スポーツ部	釜石市役所	7月15日	橋野高炉跡史跡整備検討委員会	参事兼調査課長	金子 佐知子	
2	岩手考古学会	一戸町コミュニティセンター	7月17日	第52回研究会 事例報告「宮古市田鎖車堂前遺跡の配石遺構について」	主任文化財専門員	福島 正和	
3	生涯学習文化財課	秋田道拓福区間現地	11月8日	現地踏査助言	主幹兼課長補佐	星 雅之	
4	盛岡の歴史を語る会	盛岡市総合福祉センター講堂	12月17日	「盛岡の歴史」講演	主任文化財専門員	八木 勝枝	
5	考古学研究会	岡山12月例会※	12月18日	特集 東日本大震災関連の復興調査の成果「岩手県山田町沢田III遺跡の調査成果」	主任文化財専門員	阿部 勝則	※オンライン開催
6	考古学研究会	岡山12月例会※	12月18日	特集 東日本大震災関連の復興調査の成果「岩手県野田村伏津館跡の調査成果」	文化財専門員	北田 勲	※オンライン開催
7	岩手大学平泉文化研究センター	平泉世界遺産ガイドダンスセンターほか	2月5日～6日	「柳の御所遺跡の考古学的研究」に係る研究・調査報告	主任文化財専門員	北村 忠昭	

No.	主催者	派遣場所	月日	内 容	職	氏 名	備 考
8	古代城柵官衙遺跡検討会	山形市遊学館ホール	2月12日～13日	明神下遺跡令和3年度調査成果報告	文化財専門員	須原 拓	コロナ感染防止のため中止
9	古代城柵官衙遺跡検討会	山形市遊学館ホール	2月12日～14日	「陸奥国北部の様相－胆沢城跡を中心に－」	文化財専門員	村田 淳	共同発表・コロナ感染拡大防止のため中止
10	岩手県立博物館	県立博物館講堂	1月9日	県博日曜講座「角塚古墳はなぜ作られたのか？－古墳文化北進の背景－」	主幹兼課長補佐	高木 晃	
11	福島市市民・文化スポーツ部	福島市こむこむ館わいわいホール	2月6日	「東北の土偶の移り変わりから見た福島の土偶」講演及び討論	主任文化財専門員	八木 勝枝	コロナ感染拡大防止のため延期
12	釜石市文化スポーツ部	釜石市役所	2月21日	橋野高炉跡史跡整備検討委員会	参事兼調査課長	金子 佐知子	
13	(一財)奥州市文化振興事業団	奥州市文化会館	2月26日	奥州市遺跡調査報告会での明神下遺跡の口頭発表及び展示	文化財専門員	須原 拓	コロナ感染拡大防止のため中止
14	(一財)奥州市文化振興事業団	奥州市文化会館	2月26日	奥州市遺跡調査報告会での中林下遺跡の口頭発表及び展示	文化財専門員	北田 勲	コロナ感染拡大防止のため中止
15	宮古市教育委員会	崎山貝塚縄文の森ミュージアム	3月6日	「注口土器の多様な使われ方」	主任文化財専門員	八木 勝枝	
16	岩手県文化スポーツ部	アートホテル盛岡	3月13日	「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録記念フォーラムでの報告	主幹兼課長補佐	星 雅之	

表 16 執筆

No.	依頼元	出版物	発行日	内 容	職	氏 名
1	日本中世土器研究会	『中近世土器の基礎研究28 特集 柱状高台土器を考える』	12月4日	「東北地方における柱状高台供膳具」	主任文化財専門員	福島 正和
2	(株)雄山閣	季刊考古学第158号	1月25日	『調査体制からみた「考古学と埋蔵文化財」法人埋蔵文化財組織』	主任文化財専門員	八木 勝枝
3	土偶研究会	第18回土偶研究会豊橋大会資料	1月30日	「岩手県2020年度 土偶報告」	主任文化財専門員	八木 勝枝
4	(一財)奥州市文化振興事業団	奥州市遺跡報告会資料	2月26日	明神下遺跡調査報告	文化財専門員	須原 拓
5	(一財)奥州市文化振興事業団	奥州市遺跡報告会資料	2月26日	中林下遺跡調査報告	文化財専門員	北田 勲
6	古代城柵官衙遺跡検討会	第48回古代城柵官衙遺跡検討会資料	2月12日	明神下遺跡令和3年度調査報告	文化財専門員	須原 拓
7	古代城柵官衙遺跡検討会	第48回古代城柵官衙遺跡検討会資料	2月12日	中林下遺跡令和3年度調査報告	文化財専門員	北田 勲
8	古代城柵官衙遺跡検討会	第48回古代城柵官衙遺跡検討会資料	2月12日	「陸奥国北部の様相－胆沢城跡を中心に－」	文化財専門員	村田 淳
9	岩手考古学会	『岩手考古学』第33号	3月	「平安時代の三陸沿岸地域における製塩と馬匹生産」	主任文化財専門員	福島 正和
10	花巻市博物館	『花巻市博物館研究紀要』第17号	3月30日	「稗貫・和賀地域における奥州藤原氏時代の遺跡」	文化財専門員	村田 淳
11	(株)雄山閣	季刊考古学第160号	令和4年7月25日	最近の発掘から岩手県豊沢川流域の蝦夷集落「岩手県花巻市大谷地Ⅲ遺跡」	主任文化財専門員	八木 勝枝
12	岩手考古学会	岩手考古学	刊行未定	『三陸沿岸の発掘調査～東日本大震災復興関連調査10年の記録～』「弥生～古墳時代」	主幹兼課長補佐	星 雅之
13	岩手考古学会	岩手考古学	刊行未定	『三陸沿岸の発掘調査～東日本大震災復興関連調査11年の記録～』「普代村の遺跡」	主幹兼課長補佐	星 雅之
14	岩手考古学会	岩手考古学	刊行未定	『三陸沿岸の発掘調査～東日本大震災復興関連調査10年の記録～』「第2章 時代別調査成果の解説 縄文時代」	主任文化財専門員	八木 勝枝

公益財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員名簿(令和3年度)

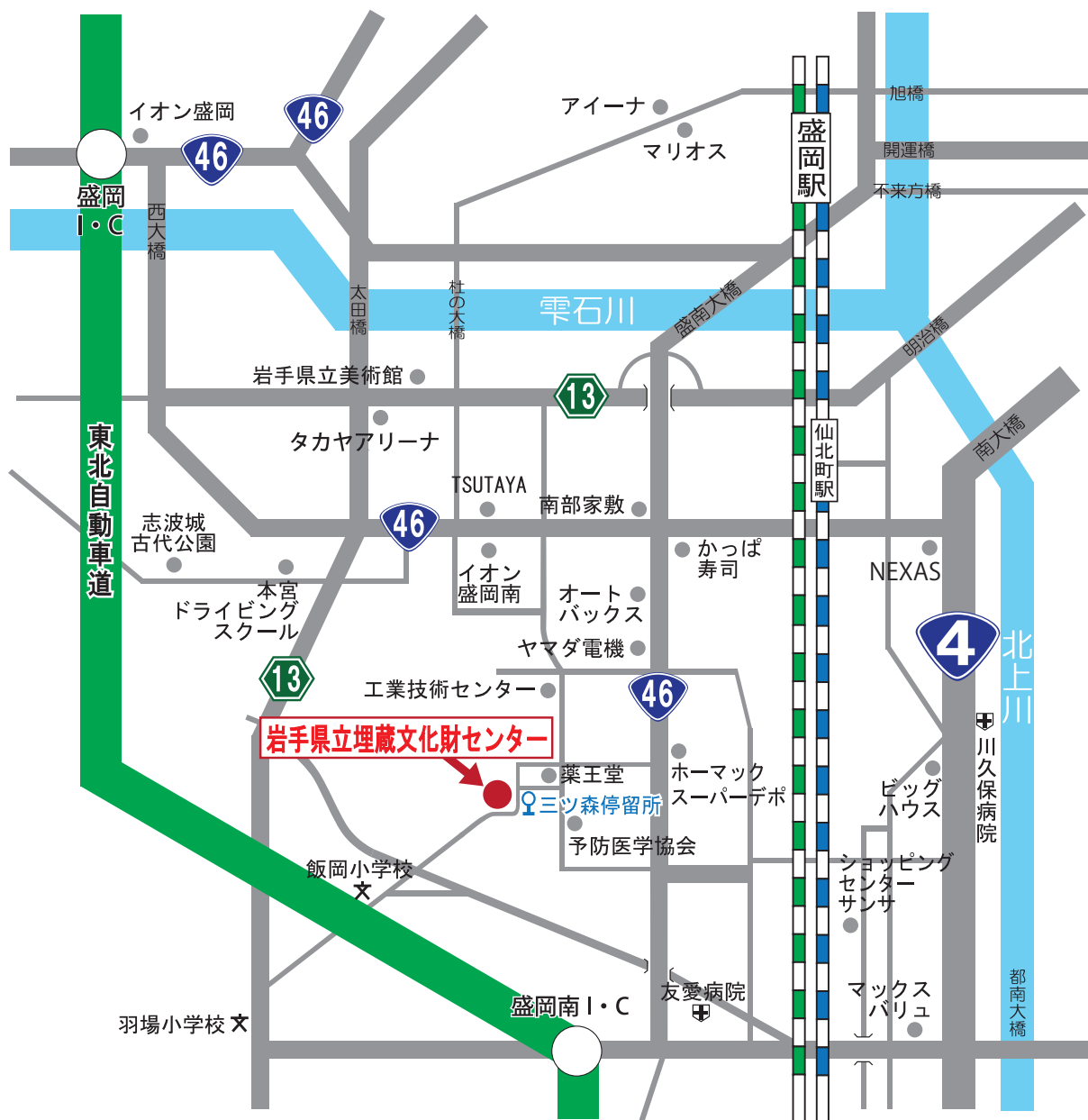
理事兼所長 齊藤 邦雄

〔総務課〕

総務課長	猪久保 健一	総務事務員	武田 秀徳 (9月退職)
主任主査	久保田 幸恵	〃	丹治 義治 (12月採用)
主査	村上 絵美	〃	築田 智恵
主事	松尾 健生		

〔調査課〕

参事兼調査課長	金子 佐知子	文化財専門員	須原 拓
主幹兼課長補佐	星 雅之	〃	川又 晋
〃	高木 晃	〃	北田 勲
主任主査	小山内 透	〃	村田 淳
主任文化財専門員	阿部 勝則	文化財調査員	野中 裕貴
〃	杉沢 昭太郎	調査補助員	富川 悟 (5月採用)
〃	溜 浩二郎	〃	袖林 清 (5月採用)
〃	村上 拓	室内整理作業指導員	村松 紀子
〃	村木 敬	〃	阿部 奈緒美
〃	福島 正和		
〃	北村 忠昭		
〃	八木 勝枝		



### アクセス

- 東北新幹線盛岡駅、JR 東北本線仙北町駅下車
- 盛岡駅発岩手県交通バス飯岡線湯沢団地經由矢巾営業所行き三ツ森停留所下車
- 仙北町駅西口より徒歩約 30 分
- 東北自動車道盛岡南インターチェンジより車で 10 分

(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡 11 地割 185 番地

TEL (019) 638-9001

FAX (019) 638-8563

E-mail アドレス i-maibun@echna.ne.jp

ホームページ <http://www.iwate-maibun.jp>

---

# 年 報

令和3年度版

発 行 令和4年7月1日

発 行 (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター  
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地  
TEL (019) 638-9001  
FAX (019) 638-8563

---